

腹腔鏡下碎石位（頭低位含む）チェックリスト

【片側上肢は外転固定、片側上肢は体幹に沿わせて固定を想定した必要物品】

手術台（1） 上肢台（1） 碎石位用支脚器（1組） 体側支持器（4） アームシールド（1）
 頭部枕（1） 吸引式体位固定具（1） 体圧分散寝具（必要数） 上肢固定帯（1） 吸引に必要な

脊柱・体幹

- ① 脊柱を一直線にしている（患者の身体を手術台の中央にする）
- ② 吸引式体位固定具の内部ビーズを均等に配置し、体幹・骨盤の安定した固定が得られている

頭部・頸部

- ③ 後頭部を体圧分散しており耳介・頸部を圧迫していない
- ④ 頸部を屈曲・伸展・回旋・側屈0° にしている

肩

- ⑤ 両肩の体側支持器で吸引式体位固定具を背側から固定し、ずれを防止している（肩峰・肩・頸部にかけて頸椎神経・腕神経叢を直接圧迫していない）

上肢（外転固定の場合）

- ⑥ 肩関節の外転を90° 以下にしている
- ⑦ 吸引式固定具と上肢台に段差がない
- ⑧ 肩関節を軽度水平屈曲位（水平内転位）（5° 程度）にしている
- ⑨ 肘関節を軽度屈曲（5-10° ）にしている
- ⑩ 上肢台で肘関節内側上顆（尺骨神経）を圧迫していない

上肢（体幹に沿わせて固定する場合）

- ⑪ 体幹に沿わせて固定する前腕は回内・回外中間位にしている
- ⑫ 肘頭部・手を除圧し、尺骨・橈骨神経を圧迫していない
- ⑬ アームシールド・上肢固定帯で局所の強い圧迫を加えていない（皮膚・神経の保護）

股関節・下肢

- ⑭ 碎石位用支脚器を大腿骨大転子部直下の位置に固定している
- ⑮ 臀部を手術台腰板の末端に位置している
- ⑯ 股関節は屈曲を90° 以下、外転を45° 以下、伸展を10° 以下にしている
- ⑰ 膝関節を屈曲90° 以下にしている
- ⑱ 碎石位用支脚器で腓骨小頭を圧迫していない
- ⑲ 踵部を碎石位用支脚器ブーツの底面に固定している
- ⑳ 下腿部全体を碎石位用支脚器と水平に固定し、下腿部を局所的に圧迫していない（コンパートメント症候群予防）
- ㉑ 碎石位用支脚器で膝窩動脈を圧迫していない
- ㉒ 足関節・膝関節と逆側の肩関節を結ぶラインを一直線にしている
- ㉓ 足背動脈または後脛骨動脈を触知できる
- ㉔ 骨盤高位時は吸引式固定具の下に枕を挿入する
- ㉕ 両下肢の屈曲・外転の角度を左右対称にしている（碎石位用支脚器ブーツの固定位置・高さ・角度を左右対称にしている）

共通項目

- ㉖ シーツのしわを伸ばす（背抜き、置き直し）
- ㉗ 爪・モニターコード・輸液ルート・カテーテル類による、皮膚の直接圧迫がない

⑳	アームシールド・離被架・上肢固定帯等による、皮膚・神経圧迫がない
㉑	体圧分散寝具を用い全身の受圧面積を広くしている
㉒	碎石位用支脚器・ベット・離被架・固定具・上肢台などが、ゆるみなく固定されている
㉓	吸引式体位固定具の吸引がゆるんでいない
頭低位・左右ローテーション時の確認項目	
㉔	頭部の位置にずれがない（頭部の重さで頸椎・腕神経叢が牽引されていない）
㉕	臀部の位置にずれがない（体の重さで大腿神経が牽引されていない）
㉖	上肢が上肢台から転落していない
㉗	碎石位用支脚器・ベット・離被架・固定具・上肢台等が、床や器械台に接触していない
㉘	体側固定した側の上肢に体幹の荷重による血流障害がない
㉙	気管チューブのずれ、深いや浅いなどの位置異常がない
㉚	モニターコード・輸液ルート・カテーテル類の突っ張りや挟まりなどなく、輸液ルート・カテーテル類の刺入部が確認でき事故除去がない
㉛	うっ血・浮腫がない（顔面紅潮・眼球充血）
㉜	体位が完成したら執刀医・麻酔医・外回り看護師で、ローテーションや頭低位など実際にベットを動かしテストを行う 術中ローテーションや頭低位の角度変更時、時間ごとの体位確認時などは①～⑳の観察項目を確認できる

